明星高等学校 2025年度 一貫部 第5学年 論理国語 シラバス MG

週 2 時間	春休み		1	学期		夏休み		2学	————— 朝		冬休	、み	3学期		春休み
Z Z FNIHI		4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	
養う チカラ					国語(の領域を原	なげ、論理	皀的に書く	力を身に	つける)				
学期目標	*	・評論に頻	張を表現と構成か 出する語句の意味 えて適切に記述す	を理解する		*	・評論に頻出する	現と構成から読み 語句の意味を理解 切に記述する力を	gする		*	評論に	主張を表現と構成か 頃出する語句の意り 考えて適切に記述す	kを理解する	*
学習	*	論理的文章 世界・地域 『二一〇〇年の世界地図』 社会行動 『「家族の幸せ」の経済学』 日本文化 『「間」の感覚』 哲学・認知 『猫は後悔するか』 * 実践的演習 「評論・小説の問題」 漢字や頻出語彙の学習は随時行う。文章ごとに要終文を作り、内容理解と文章力を養成する。また、問題演習を行い、受験に対応した力も身につける。				*	作り、内容理解	五値』 義』	する。また、問題		*	社現 大 実「 漢文と 漢文文 とと	建築 都市のレトリック』 体験 体会における物語 ・小 強ニスト 国子スト 国子の問題」 関連の変をのいまた ででである。 ででである。 ででである。 でいまた。 でい。 でいまた。 でいまた。 でいまた。 でいまた。 でいまた。 でいまた。 でいまた。 でいまた。 でいまた。 でいまた。 で、 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。	た 大随時行う。 内容理解 こ、問題演	*
教科書	ſ	論理国語	』(明治書院)		•							,			
副教材等	2	『進研Wi	5ス語彙2040』 nstep 現代文 接続詞で決ま	2』(Learn-S)	 新書)										
		知識	•技能	定期考査・漢	字テスト・語	句テストなど									
観点		思考力・判	断力・表現力	定期考查·実	カテスト・要	約課題·作文	課題など								
	主体	本的に学習	に取り組む態度	授業への取り	J組み・課題	への取り組み	など								

明星高等学校 2025年度 一貫5年 理系国語 シラバス MS

週3時間	春休み		1	学期		夏休み		2学	朝		冬休み	·	3学期		春休み
22023123		4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	
養う チカラ					確!	実な基礎	力と共通	テストにタ	対応できる	5 力					
学期目標	*		基礎基本	の確実な定え	É	*	Ę	既習事項の運	類・実践		*	応月	用的内容へ σ	展開	*
学習単元	*		されている文	・古典探究の。 章を中心に学 題演習		*			典探究の教科· ・中心に学習を 計習		*	究の教	語・文学国語 科書に広く採 章を中心に学 問題演習	用されて	
教科書	な	:L													
副教材等	『入試頻出セレクション 漢字プラス語彙2040』(尚文出版) 『さくらさく古文単語』(浜島書店) 『高校生の古典文法 七訂版』(啓隆社) 『共通テスト 国語対策問題集 [標準から実践へ] 合冊版(現代文+古典) 三訂版』(桐原書店)														
		知識	•技能	定期考査・	小テストなど	:ど 									
観点	,	思考力・判	断力・表現力	定期考査・	課題提出など	•									
	主体的に学習に取り組む態度 課題提出・授業態度など														

明星高等学校 2025年度 第2学年 古典探究 シラバス MG

週3時間	春休み		1:	 学期		夏付	ς à	2 =	 学期		冬休み	<i>*</i>	3学	======================================		春休み
25011/14/		4	5	6	7	8	9	10	11	12		1		2	3	•
養う チカラ			伝	統的な言	語文化	داد -	関する理解	翼を深る	か、古典を	主体的	に読	み深め	るチカラ	5		
学期目標	*	基礎基本の確実な定着 古今著聞集 小式部内侍~				*		既習事項(の運用・実践	*		応用的内	容への展開	뤽	*	
		古台					大和物	加語	姥	 焓		源氏	:物語	光る君	試誕生	
		徒然草 世に語り伝え~					竹取物	7語	かぐや姐	 の嘆き		鴻門	 之会			1
		伊	勢物語	初冠	!		蜻蛉E	詩 鈴日記 うつろひたる菊								1
			推敲	呉越同	舟		嬰逆	鮮	莫敢的	 飾詐	- 					1
		各ジャン	ルの古典に角	 虫れ読解を深	める		 鶏鳴狝	 j盗								1
		各ジャンルの古典に触れ読解を深める 〇1年生既習の文法事項の確認 〇グループ学習、演習を多く配当する。			⁻ る。		○文法を意記 触れる。 ○演習からの		に読み物とし 経験する。	て面白さに			解や諸文法	合して、なる 法事項を活		
 学習 単元	*	* 上記の通り				*	上記の通り					* 【古文】 * 助動詞の識別 *				
教科書	「わかる・読める・解ける Key Point 古文単 「ベーシックレベル古文」「ベーシックレベル漢					30	三訂版」(本科) 「さくらる	【語単文古〉名	(一 <mark>貫MG</mark> /	一貫網	総合)				
副教材等	1 ~		ノベル <u>古又」</u> ・技能	-												
 観点			•				プレゼンテー?		、小テスト							
70/111		(体的に学習に取り組む態度 課題提出・プレゼンテーション発表・授業態度														

明星高等学校 2025年度 2学年 日本史探究 シラバス MG・一貫MG

週4時間	春休み		芝期	夏休み	2学:	期	冬休み	3学期	春休み		
<u> </u>		中間	期末	, Q ₁₁ 07	中間	期末	2 1107	0.7.491			
養う チカラ		多様な史料を読解し歴史	見方・考え方を働かせて、 と事象と結び付け、説明で	、歴史に関わる事象 するカ	・取る力 ・取る力 ・の意味や意義、伝統と文化の ことを効果的に説明したり論。		連を多面に	的・多角的に考察する力			
学期目標	*		科目から脱却し、考察する 識を変える	*	模試の過去問を通じて進研G する		*	《S》ゾーン到達率の増加	*		
学習	*	第 I 部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容 第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治	*	2 国風文化 3 地方政治の展開と武士 第I部 中世 第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権 第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会	3 モンゴル襲来と幕府の 衰退 4 鎌倉文化 第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の 台頭 3 室町文化	*	4 戦国大名の登場 第皿部 近世 第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化 第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定	*		
教科書	山	出版社『詳説日本史。		•							
副教材等	用語集:山川出版社『日本史用語集』										
		知識・技能	定期考査、小テスト	————— 等							
観点		思考力・判断力・表現力	定期考査、小テスト	· 等							
	主体	本的に学習に取り組む態度	提出物、授業態度等	出物、授業態度等							

明星高等学校 2024年度 第 2 学年 世界史探究 シラバス MG

5 単位	春休み	*	1	学期		夏休み		2学其	————— 朝		冬休み		3学期		春休み
		4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	
養う チカラ		歴史的	事実の理解に	文化を学習す とどまらず、出 を、進研模試 <i>0</i>	出来事の因果	関係を明らか	にし、構造的	に歴史を理解	する力を探究	咒活動を月	用いて割	養う 。			
学期目標	*	知識	を知恵に変えて	C探究を定着さ [、]	世る。	*	進研模討	GTZ平均《B》):	ブーン以上をめ	ざす	*		試GTZ《A》ゾ なる増加をめる		*
学習	*	第12345第123第12 1 1 2 3 4 5 3 3 4 5 3 4 4 7 東章イギロの場所で国北南教が南でいい。	オリエント文明と ジアの古代文明 の古代文明 アメリカ文明 「アジア世界と東「 の成立と南アジフ 「古典文化とヒン」 アジア世界の形」	その周辺 南アジア世界の原 アの統一国家 ドゥー教の定着 或と展開 周辺の国家形成 ナイラン文明		*	1 中央ユーラ 2 秦・漢帝国 3 中国の動舌 4 東アジアラ 1 アラブの大 2 ヨーロッパ 第1章 イスラー 1 イスラーム 2 西アジアの 第7章 ヨーロッ	と変容 化圏の形成 -ム教の成立とヨール 世界の形成 -ム世界の伝播と 教の前 の世界の伝播と 教の前 (世界の変容と での対理展展 でと でであると	ーロッパ世界の公政権の成立 と西アジアの動向 伝播 と展開		*	ル帝国アジー 1 2 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	アジア世界の展 ジア諸地域の自: ジア諸・大交の東 ジ交易・大交の興 ジアのの海洋進出 容 アジア国ののでは、 アジア国ののでは、 アジア国の呼 との中国と隣接諸・アントのののでは、 アジア国ののでは、 アジア国ののでは、 アジア国ののでは、 アジアは、	立化と宋 時代 隆 はとアメリカ 繁栄 ヴィー朝	*
教科書	山	川出版社	:『詳説世界史	探究』							•	•			
副教材等	資料集:浜島書店『ニューステージ 世界史詳覧』 学習ノート:山川出版社『詳説世界史整理ノート』 問題集:山川出版社『詳説世界史 10分間テスト』														
		知諳	•技能	•定期考査、	小テストで「失	□識・技能」を(はかる								
観点		思考力・判	断力・表現力	•定期考査、	 授業内での多	での発表、演習問題への取り組みなどで「思考力・判断力・表現力」をはかる									
	主体	本的に学習	に取り組む態度	・課題の提出	状況と内容、	グループワー	−クなどから「 <u>ː</u>	主体的に学習	別に取り組む姿	姿勢」をは	かる				

明星高等学校 2025年度 2学年 公共 シラバス (一貫MGS・MG・MS 共通)

週()時間	春休み	1学	学期	夏休み	2学	胡	冬休み	3学期	春休み
ZE(/ FI][F]		中間	期末	211	中間	期末	711.7	0-1-341	
養う チカラ	d	よりよい社会の質	実現を視野に、ヨ	現代	の諸課題を主体的	ー に解決しようと ⁻	する態	度を養う	•
学期目標	*	社会に参画する自立し生きるのではなく、地域はの一員として生き、他者として国家・社会などのなであることを理解する	社会などの様々な集団 との協働により当事者 公共的な空間を作る存	*	憲法の下、適正な手続きにいて各人の意見や利害を公 や社会の紛争を調停、解決 利や自由が保障、実現され、 持されていくことについて理解	平・公正に調整し、個人 することなどを通して、権 社会の秩序が形成、維	*	公正かつ自由な経済活動を行う ことを通して資源の効率的な配分 が図られること、市場経済システムを機能させるための政府の役 割について理解する。	*
学習	*	■ 1章 社会を作る 私たち 1.生涯における青年期 の意義 2.青年期と自己形成の 課題 3職業生活と社会参加 4現代社会と青年の生 き方 【個人探究・グループ ワーク】青年心理について考える	2.国民主権と民主政治 の発展 【第2編】よりよい社会 の形成に参加する私た	*	【第2編】よりよい社会の 形成に参加する私たち ■ 第2章 日本の政治機 構と政治参加 1政治機構と国民生活 2.人権保障と裁判所 3地方自治 4.選挙と政党 5政治参加 【個人探究】自分の地元 について調べ動画作成	済社会	*	■ 第3章 現代の経済社会 4経済成長と景気変動 5.金融機関の働き 6.政府の役割と財政・租税 ■ 第4章経済活動のあり方と国 民福祉 【個人探究】国家財政について考 える	*
教科書	詳i	述 公共 実教出版				,			ļ
副教材等	詳述 公共 演習マイノート 実教出版								
		知識・技能	定期考査、小テスト	等					
観点	Æ	思考力・判断力・表現力	定期考査、提出物、	授業へ	への取り組み等				
	主体	的に学習に取り組む態度	提出物、授業への取	り組み	· 				

明星高等学校 2025年度 一貫5学年 化学 シラバス MS

週4時間	春休み		学期	夏休み	2学	^生 期	冬休み	3学期	春休み
<u> </u>		中間	期末	Σηω,	中間	期末	2 1107	0.1.201	
養う チカラ					いて構造・結合・エネ			5.	1
学期目標	*	・化学変化に伴う熱・気体の体積と圧ナ・化学平衡と溶解、・金属結晶、イオン	」や温度との関係 希薄溶液の性質	*	・芳香族炭化水素の ・脂肪族化合物の性 ・有機化合物の性質 解、組成式、構造量	生質や反応 質、元素分析の理	*	・反応速度と濃度・圧力・温度・触媒の関係 ・化学平衡の法則の理解・糖類の性質や反応	*
学習単元	*	第 II 章 物質の変化と平衡 第 2節 電池・電気分解 第 1節 化学反応と熱・光 第 I 章 物質2節 気体の法則 (中間考査)	第 I 章 物質の状態 第 2 節 気体の 第 3 年 第 3 年 第 1 年 の 性 質 第 1 年 の 構 の は は は は は は は の は の は の は の は の は の は	夏期講習	・夏休み明けテスト 第IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 第2節 脂肪族 化水素 第3節 酸素を含む 脂肪族 なむ合物 (中間考査)	第Ⅳ章 有機化合物 第3節 酸素を含む 脂肪族化合物 第4節 芳香族化合物 (期末考査)	*	第 I 章 物質の変化と平衡 第 3 節 化学反応の速さ 第 4 節 化学平衡 第 5 節 電離 平衡 第 V 章 高分子化合物 第 2 節 天然類まで (学年末考査)	*
 教科書	ī	 高等学校 化学 (第	<u> </u> 「一学習社)					(子牛木芍苴)	
副教材等	1	セミナー化学基礎+作	化学 2025 (第一学	習社)					
		知識•技能	小テスト、単元テ	ストと定期考査の	内、知識・技能を要	する内容から総合的	に判断	-	
観点	思	ままり・判断力・表現力	実験プリントの考	察、 単元テスト	と定期考査の内、思想	考力・判断力・表現力	」を要する内容が	いら総合的に判断	
	主体	めに学習に取り組む態度	提出物(授業プリ	ント、実験プリント	、課題提出など)の	提出状況、授業態度	から総合的に判	l断	

明星高等学校 2025年度 一貫5学年 生物 シラバス MS

週4時間	春休み		芝期	夏休み	2学	芝期	冬休み	3学期	春休み				
<u>河西</u> 中市(日)		中間	期末	Z γ _ι νογ	中間	期末	ا بخ الام	5 十初	E PI-V				
養う チカラ	•演	2で学んだ生物学の知 習では、積み上げた理 験や論述作業を通じ、	解を土台として応用的	な思考問題へ	・ 析する力や、思考する力を への対応力を身につける。 ・。	を養う。							
学期目標	*	・地球上の生物の誕生が解する。 ・有性生殖や遺伝のしく種が誕生するしくみを理・タンパク質分子や細胞について理解する。	解する。	*	点から理解する。 ・細胞内の情報伝達に関わ あるDNAとその利用の仕組	色体の分配ルール、動物や	*	・動物の行動の背景には、生理学的な情報伝達の仕組みが関わることを理解する。 ・植物が周囲の刺激に対してそのような反応を行い、その反応はどう引き起こされるのかを理解する。	*				
学習単元	*	【第1部 生物の進化】 第1章 生物の進化 第2章 有性生殖と 遺伝的多様性 第3章 進化のしくみ (中間考査)	第4章 生物の系統	*	【第2部 生命現象と物質】 第6章 代謝 【第3部 遺伝情報の発現と発生】 第7章 遺伝現象と物質 (中間考査)	【第3部 遺伝情報の発現と発生】 第8章 発生と遺伝子の 発現 第9章 バイオテクノロジー (期末考査)	*	【第4部 生物の環境応答】 第10章 刺激の受容と反応 第11章 動物の行動 第12章 植物の行動 (学年末考査)	*				
教科書	į	L 高等学校 生物(啓林館	I		<u> </u>								
副教材等	改訂版 リードα生物基礎+生物(数研出版)												
		知識・技能	小テスト、定期考査										
観点	,	思考力・判断力・表現力	小テスト、定期考査	、ワークシート	ークシート、実験レポート								
	主体	めに学習に取り組む態度	提出物(課題、ワー	クシート、実験	(レポート)、授業態度								

明星中学校·高等学校 2025年度 一貫5学年 物理 シラバス MS

週4時間	春休み	1学	-期	夏休み	2学	期	冬休み	3学期	春休み
22 (4)(4)		中間	期末		中間	期末		0 1 741	
養う チカラ		学, 熱, 波動, 電磁気を	を体系的にとらえ、物理		.、適用できるようにする。 」を培う。				
学期目標	*		・円運動と単振動を体系的に理解し、状況に応じて適切な公式を適用できるようになる	*	・熱の分野をを体系的に理解し、状況に応じて公式を適用できるようになる・波のイメージを適切にとらえ式として扱えるようになる	・音波, 光波のイメージ を適切にとらえ、式とし て扱えるようになる	*	・電場と電位の定義を理解し、抽象的な概念を具体的なイメージと式に落とし込む・キルヒホッフの法則を理解し、適用できるようになる	
学習単元	*	第 I 章 運動とエネルギー 第 1 節 平 放物運動 放物運動 第 2 節 剛体のつりあい 第 3 節 運動量の保存 (中間考査)	第 I 章 運動とエネルギー 第4節 円運動と単振動 (期末考査)	*	第 I 章 運動とエネルギー 第5節 気体の性質と 分子の運動 第 II 章 波動 第1節 波の性質 (中間考査)	第Ⅱ章 波動 第2節 音波 第3節 光波 (期末考査)	*	第Ⅲ章 電気と磁気 第1節 電場と電位 第2節 電流 (学年末考査)	*
教科書	高	「 「等学校 物理 (第一)	 学習社)						
副教材等	2025 新課程版 セミナー物理 (第一学習社)								
		知識•技能	定期考査の知識・技	支能問題の出来,	課題確認テストの出来,提	出物から総合的に判断	折する		
観点	Ę	思考力・判断力・表現力	定期考査の思考力	•判断力•表現力	問題の出来,課題確認テス	トの出来,提出物から	総合的	こ判断する	
	主体	的に学習に取り組む態度	課題確認テストの出	出来,提出物,出久	欠席から総合的に判断する				

明星中学校·高等学校 2025年度 一貫5学年·高2MG(数学II)シラバス

週(4)時間	春休∂		单期	夏休み	2学	期	冬休み	3学期	春休み		
22(1)[1]		中間	期末	, Zn-,	中間	期末	211.57	0-1-701			
養う チカラ			数学的な見:	方・考え方を働た	かせ,数学的活動を通し	て,数学的に考える資	賢 • 能	カ	•		
学期目標	*	体系的に理解するとともに、事象を	,等式や不等式が成り立つことな	*	(1) 図形と方程式、いろいろな関数の:理・法則を体系的に理解するとともに、はしたり、数学的に表現・処理したりする法(2) 座標平面上の図形について構成要て図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、する力、関数関係に着目し、事象を的研察する力を養う。	事象を数学化したり、数学的に解釈 技能を身に付けるようにする。 素間の関係に着目し、方程式を用い 図形の性質を論理的に考察したり	*	(1) 微分と積分の考えについての基本的な概念 や原理・法則を体系的に理解するとともに、事 象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的 に表現・処理したりする技能を身に付けるように する。 (2) 関数の局所的な変化に着目し、事象を数学 的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り 返って統合的・発展的に考察する力を養う。	约 - *		
学習	*	1章 方程式・式と記明 15 方程の 15 方式のの 15 を 16 を 16 を 16 を 17 を 17 を 18 を 18 を 18 を 18 を 18 を 18 を 18 を 18	2章 図形と方程式 1節 点と自の点 1. 値線点 2. 車線の方程 4. 2直線の内 4. 2直線の内 2節 円 1. 円の方程式 2. 円と直線 3節 軌跡と方程式 2. 不等式の表す領域 1. 軌等式の表す領域	*	3章 三角関数 15 三角関数 1 三角関数 1 三角関数 2 三角関数 3 三角関数の性ラ 5 三角関数ので 6 三角関数の 2節 加法定理 1 加法定理の応用 2 加法定理の応用	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 1. 指数関数 2. 指数関数 2節 対数関数 1. 対数関数とその性質 2. 対数関数とそのグラフ 3. 常用対数	*	5章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. 接線の方程式 2節 微分法の応用 1. 関数の増減と極大・極小 2. 導関数のいろいろな応用 3節 積分法 1. 不定積分 2. 定積分 3. 定積分と面積	*		
教科書				<u> </u>	」 703「数学Ⅱ Progress」 実			1			
副教材等	等 「Prominence数学Ⅱ」実教出版										
		知識・技能	数学Ⅱにおける基本的な概念や原理	・法則を体系的に理解していると	とともに、事象を数学化したり、数学的に解釈した	とり,数学的に表現・処理したりすることがで	きる。				
観点		思考力・判断力・表現力					形を簡潔・明瞭・的確に表現したり,図形の性質を論理的 を振り返って統合的・発展的に考察する力を身につけるこ				
	主任	本的に学習に取り組む態度		≃する態度,粘り強く柔軟に考え な深めたり,評価・改善したりし	数学的論拠に基づいて判断しようしている。 ようとしている。						

明星中学校·高等学校 2025年度 一貫5学年(数学Ⅱ)シラバス (MS)

週(4)時間	春休み	1学	学期	夏休み	2学	期	冬休み	3学期	春休み				
22(1/4)[1]		中間	期末	∠ 1147	中間	期末		0 1 201					
養う チカラ			数学的な見る	方・考え方を働フ	かせ,数学的活動を通し	て,数学的に考える資	資質•能	カ	-				
学期目標	*		,等式や不等式が成り立つことな	*	(1)図形と方程式、いろいろな関数の記 理・法則を体系的に理解するとともに、こ したり、数学的に表現・処理したりするお (2)座標平面上の図形について構成要 て図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、 する力、関数関係に着目し、事象を的研察する力を養う。	事象を数学化したり、数学的に解釈 技能を身に付けるようにする。 素間の関係に着目し、方程式を用い 図形の性質を論理的に考察したり	*	(1) 微分と積分の考えについての基本的な概念 や原理・法則を体系的に理解するとともに、事 象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的 に表現・処理したりする技能を身に付けるように する。 (2) 関数の局所的な変化に着目し、事象を数学 的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り 返って統合的・発展的に考察する力を養う。	勺 = *				
学習単元	*	1章 方程式・式と証明 1節 方式のの乗 1. 整項での 3. 整項での 4. 分複素数 2. 2、整数を表数 4. 分複素数 2. 2、全額 1. 複次介の定 2. 2次余の定 3. 無高式式式式 3. ま式式の証明 1. 不等式の証明 2. 不等式の証明 1. 不等式の証明 2. 不等式の証明	2章 図形と方程式 1節 点と上の点 2. 節 点を上の点 3. 直平は線の方程係 2. 平の方程係 2. 円の方程 2. 円の方程 2. 円と直線領域式 1. 軌跡と方程式 2. 不等式の表す領域	*	3章 三角関数 1. 1. 2. 3. 三角関数 1. 一個 2. 3. 三角関数 4. 三角角 3. 三角 4. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	2節 対数関数 1. 対数関数 2. 対数関数とそのグラフ 3. 常用対数 5章 微分法と積分法 1節 微分係(本)を入り、導関数 1. 平均変化率と微分係。 2. 導関数 3. 接線の方程式 2節 微分法の応担が、 1. 関数の増減と極い 2. 導関数のいろいろな応用	*	3節 積分法 1. 不定積分 2. 定積分 3. 定積分と面積 数皿 1章 関数と極限 1節 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数	*				
教科書	数 II 703「数学 II Progress」実教出版												
副教材等				Г	Prominence数学Ⅱ」実教	出版							
		知識・技能	数学Ⅱにおける基本的な概念や原理・	法則を体系的に理解している。	とともに、事象を数学化したり、数学的に解釈した	とり,数学的に表現・処理したりすることがで	き る。						
観点	,	思考力・判断力・表現力			等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力,座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し,方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり,図形の性質を論理的に考 確に表現してその特徴を数学的に考察する力,関数の局所的な変化に着目し,事象を数学的に考察したり,問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身につけることが								
	主体	本的に学習に取り組む態度	纵丛 A Let 2016 到城市 (7 四) 上飞上 7 亿在,此门及人里和一本三轨丛林及城市 甘肃 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										

明星中学校·高等学校 2025年度 一貫5学年(数学 II)シラバス (MS)

週(2)時間	春休み		之期	夏休み	2学	朝	冬休み	3学期	春休み		
22(2/2)[2]		中間	期末	2	中間	期末		0 1 791			
養う チカラ		数学	的な見方・考え	方を働かせ	,数学的活動を通り	して、数学的に	考える	資質·能力			
学期目標	*			*			*		*		
学習単元	*	1章 数列 1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	2節 いろいろな数列 1. 数列の和と Σ 記号 2. 階差数列 3節 漸化式と数学的帰納法 1. 漸化式 2. 数学的帰納法	*	1章 確率分布と統計的な推測 1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散・標準偏差 3. 確率変数の和と積 4. 二項分布 2節 正規分布 1. 連続的な確率変数 2. 正規分布	3節 統計的な推測 1. 母集団と標本 2. 統計的な推測 3. 仮説検定	*	数Ⅲ 2節 数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列 3. 無限級数	*		
教科書		•		数B7	· /04「数学B Progress」実教	· 女出版	!		•		
副教材等				Г	Prominence数学B」 実教出	当版					
		知識•技能	数学Bにおける基本的な概念や	原理・法則を体系的に理解	するとともに,事象を数学化したり,数学的	に解釈したり,数学的に表現・処理	したりすること	かできる。			
観点		思考力・判断力・表現力	離散的な変化の規則性に着目しまた確率分布や標本分布の性質(し, 事象を数学的に表現し考察できる。 に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりできる。							
	主体	本的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しまた、問題解決の過程を振り返って	- しようとする態度,粘り強く柔 て考察を深めたり,評価・改	軟に考え数学的論拠に基づいて判断しよ 善したりしようとしている。	うしている。					

明星中学校·高等学校 2025年度 一貫5学年(数学 II)シラバス (MS)

週(2)時間	春休み	1学	4期	夏休み	2学期		冬休み	み 3学期	春休み
<u> </u>		中間	期末	21147	中間	期末		0 1 701	
養う チカラ			数学的な見る	方・考え方を働ォ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	て,数学的に考える資	資質•能	カ	
学期目標	(1)ベクトルの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。			*	(1) 平面上の曲線と複素数平面について 系的に理解するとともに、数学的な表現 を数学化したり、数学的に解釈したり、数 身に付けるようにする。 (2) 大きさと向きをもった量に着目し、演第 する力、図形や図形の構造に着目し、そ 察する力、数学的な表現を用いて事象を う。	の工夫について認識を深め、事象 学的に表現・処理したりする技能を 算法則やその図形的な意味を考察 れらの性質を統合的・発展的に考	*	(1) 平面上の田塚と侵来数平面についての基本的は概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に展現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を奏う	*
学習単元	*	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル 1. ベクトルとその意味 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの内積 4. ベクトルの応用 1. 位置ベクトル 2. ベクトルの図形への応用 3. ベクトル方程式	3節 空間のベクトル 1. 空間における直線と 平面 2. 空間の座標 3. 空間のベクトル 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. 空間の図形	*	2章 複素数平面 1節 複素数平面 1. 複素数の極形式 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数の図形への応用	3章 平面上の曲線 1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 軌跡と2次曲線	*	2節 媒介変数表示と極座標 1. 媒介変数表示 2. 極座標 3. 極方程式 4. いろいろな曲線 数皿 3節 関数の極限 1. 関数の極限 2. いろいろな関数の極限 3. 関数の連続性	*
教科書	数(C703「数学C Progress	」実教出版		•				•
副教材等	ГР	rominence数学C」実	教出版						
		知識•技能	数学Cにおける基本的なる。	概念や原理・法則を	体系的に理解するとともに,事象	を数学化したり, 数学的に角	解釈したり,	数学的に表現・処理したりすることが	でき
観点	ļ	思考力・判断力・表現力	大きさと向きをもった量に る。	着目し, 演算法則や	その図形的な意味を考察できる。	。また、図形や図形の構造に	こ着目し, -	それらの性質を統合的・発展的に考察	でき
	主体	的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学 めたり、評価・改善したりし		態度, 粘り強く柔軟に考え数学的語	ー 操拠に基づいて判断しようし	ている。ま	た、問題解決の過程を振り返って考察	を深

明星中学校・高等学校 2025年度 一貫(5)学年(科目)シラバス(特選・総合・英語・共通)

週()時間	春休み	1学	期	夏休み	2学	2学期		3学期	春休み
	B 11.47	中間	期末	Σ γιω <i>γ</i>	中間	中間期末		9 十 郑	
養う チカラ	2	・ 食衣住や消費生活に 子どもについて学び、 生活様式の多様化が	社会問題や親の役割	割を理解する	実・向上を図る能力と実践	態的な態度			
学期目標	*	・現代の青年期、家族・解し、関心を持つ。 ・衣服の役割について理課題について関心を持つ・健康で快適な衣生活を材料、被服管理などの表技術を学ぶ。 ・手縫いやミシンを使った	程解し、衣生活の現状や つ。 ・営むために必要な被服 基礎的・基本的な知識と	*	・食事の意義・役割を理解し、 について関心を持つ。 ・健康な食生活を営むために の基礎的・基本的な知識と技 ・調理の技術を学び実践的な ・課題解決に向けて取り組む	こ必要な栄養、食品など 技術を学ぶ。 な力を身につける。	*	・消費の現状や、家計と社会の関わりについて理解する。 ・消費者として主体的に判断し行動できる力を身に付ける。 ・お金の使い方について学ぶ。 ・環境に配慮した消費生活について自ら考え、公正な判断力を養う。	*
学習単元	*	青年期・家族 8章 1. 人生100年時代を生きる 2. 青年期の課題 3. 現代の家族・家庭と法律 衣生活 2章 1. 人と衣服 2. 衣服の手入れ・管理 3. 衣服素材の性能と着心地 4. これからの衣生活(SDGs) ◎ 被服実習・手縫い、ミシンの基礎 ◎調理実習・調理の基礎		*	食生活 3章 1. 人と食生活 2. 食品と栄養素 3. 食品の選択・保存、安全な 4. 献立作成 5. これからの食生活(SDGs) ◎調理実習 ・調理の基礎 ◎アートグレイシルバー(SDC) ・環境を考えた消費	s)	*	消費生活 1章 1. 18歳成人 2. 契約と消費者トラブル 3. 消費者の権利と責任 4. 生活費と家計 5. これからの消費生活(SDGs) ◎演習 ・ドリル	*
教科書				高等学	校 家庭基礎 『Survive!』教	数育図書	•	•	-
副教材等									
		知識·技能			定期考查	査·製作物			
観点	,	思考力・判断力・表現力			製作物・	・レポート			
	主体	めに学習に取り組む態度			実習や授業へ意	意欲・関心・態度			

明星高等学校 2025年度(2)学年(体育)シラバス(共通)

週(2)時間	春休み	1学	至期	夏休み	2学期			3学期	
(2/41)[6]		中間	期末	. Q.,,	中間	期末	冬休み	0.1-141	春休み
養う チカラ		動や健康につい 他者に伝えるカ		会の課題を	発見し、合理的、計	十画的な解決に	向けて	こ思考し判断するとと	ŧ
学期目標	*	運動の合理的、計画的 楽しさや喜びを深く味わ 動を豊かに継続すること め、運動の多様性や体質 解するとともにそれらの	い、生涯にわたって運 かできるようにするた カの必要性について理	*	生涯にわたって運動を豊かに 発見し、合理的、計画的な解 するとともに自己や仲間の考 る	決にむけて思考し判断		運動における競争や協働の経験 を通じて公正に取り組む、一人一 人の違いを大切にしようとすると ともに、健康・安全を確保する	-
学習単元		【男子】 ・球技(ゴール型)ハンパス・シュート 【女子】 ・球技(ネット型)バレーパス・サービス 【体育理論】 ・スポーツにおける技・スポーツ戦術におけ・技能の上達過程と総	ーボール 能と体力 る技術と戦術	*	 【男子】 ・武道(柔道) 」 固め技・投げ技 【女子】 ・球技(ベースボール型)ン 捕球・送球・バッティング 【共通】 ・水泳 3泳法 【体育理論】 ・効果的な動きのメカニズ ・体カトレーニング ・運動やスポーツでの安全 	Д	*	【共通】 ・ダンス 現代的なリズムダンス 創作ダンス	*
教科書	「現	 代高等保健体育]大修	·····································	<u> </u>			!		
副教材等	「ス -	テップアップ高校スポー	-ツ2024」大修館書品	Ė					
		知識•技能	実技·筆記試験						
観点	思	思考力・判断力・表現力	実技・筆記試験・レポ	- -					
	主体	的に学習に取り組む態度	学習への取り組み態	度∙課題					

明星高等学校 2025年度 (2)学年(保健)シラバス(一貫MGS・MGS)

週(1)時間	1子		学期	夏休み	2学期			3学期			
(1/ 四 円		中間	期末	Ση.··/	中間	期末	冬休み	0 7 201	春休み		
養う チカラ					、合理的、計画的な	解決に向けて	思考し	判断するとともに、目	的		
学期目標	個人及び社会生活における健康・安全について 理解を深めているとともに、技能を身につける。 *			*	健康についての自他や社会(的、計画的な解決に向けて思に、目的や状況に応じて他者	思考し判断しているととも	*	傷害を通じて自他の健康の保持 増進やそれを支える環境づくりを 目指し、明るく豊かで活力ある生 活を営むための学習に主体的に 取り組もうとしている。			
学習	*	【生涯を通じる健康】 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中	· 蛏択	*	【生涯を通じる健康】 ・結婚生活と健康 ・ 一	康 才 策	*	【健康を支える健康づくり】 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用	*		
教科書	「現	- 代高等保健体育」大修	5館書店						•		
副教材等	材等 なし										
		知識•技能	筆記試験・小テスト								
観点	Ę	思考力・判断力・表現力	筆記試験・小テスト・レ	ノポート							
	主体	x的に学習に取り組む態度	学習への取り組み態	度∙課題							

明星中学校・高等学校 2025年度 一貫(5)学年(論理表現Ⅱ)シラバス(特選)

週(2)時間	春休み		单期	夏休み	2学	芝期	冬休み	3学期	春休み
		中間	期末	Ση.« <i>7</i>	中間	期末		0 7 24)	E FIG.
養う チカラ	·教 ·年 ·進	科書本文や初見の文章(科書本文の内容をまとめ 間を通して語彙力を客観 研模試を通して総合的な 検目標級に合格できる系	なおし、話したり書いた 的に測定し、大学入試に 英語力を客観的に測定	りする力を身につける こ対応した語彙力の向 し、事前・事後学習に	。]上を目指す。 よりGTZを向上させる(き				
学期目標	*	* ·模試7月目標:全員C2以上 ·英検学期目標:準2級以上80%		英検第二回合格に向けての対策			英検第三回合 格に向けての 対策		今年度の学 習内容の定 着
学習単元	*	★4年次の総復習 ★Lesson1 主語の選択 ★Lesson2 動詞の語法 ★英検対策 ライティング指導	★Lesson3 時制 ★Lesson4 助動詞 ★模試対策	スタサプ・Weblio Studyを用いた復 習や演習 夏休み明けテスト を実施	★Lesson5 修飾の仕方: 不定詞・分詞 ★Lesson6 修飾の仕方: 関係詞 ★模試対策	★Lesson7 修飾の仕方: 副詞句・副詞節 ★Lesson8 情報の伝達: レポート文 ★模試対策	スタサプ・ Weblio Study を用いた復習 や演習 冬休み明けテ ストを実施	★Lesson11 比較	スタサプ・ Weblio Studyを 用いた復習や 演習
教科書	[A	ce Vision Quest Eng	lish Logic and Expre	ession II 』(啓林館	()				
副教材等	We	sion Quest 論理・表 blio Study ヌディサプリ	現II Ace WORKBOO	OK』(啓林館)					
		知識•技能	中間·期末考査、小	ヽテスト					
観点	思	考力・判断力・表現力	中間・期末考査、/	パフォーマンステス	ト、課題				
	主体	体的に学習に取り組む態 度	課題、提出物、学習	冒への取り組み					

明星高等学校 2025年度 第2学年 英語コミュニケーション II シラバス 一貫MGS

週4時間	春休み		芝期	期		期	冬休み	3学期	春休み	
<u> </u>		中間	期末	. χηω,	中間	期末	2 1/107	0 1 % 1		
養う チカラ	●音	読など音声トレーニ	ングの手法を習得し	、リスニングカ・	け、速く正確に読む基礎 スピーキングカの向上を 挑戦できる英語力を磨く	- 情報を整理できる。				
学期目標	 ・語彙力・文法力の増強 ・構文把握力の育成・パラグラフリーディン * グを意識したリーディングカの養成 ・文法ベースでの基礎事項の確認と定着 ・700語程度・英検2級以上レベルの速読 			*	・語彙力・文法力の増強・構文把握力の育成・文法ベースでの基礎事項を意識したリーディングと・900語程度・英検2級以上	ライティングカの養成	*	・語彙力・文法力の増強・英文解釈力の育成・意図や考えを正確に伝える表現力の育成・1000語程度・英検準1級レベルの速読	*	
学習	●『教科書ELEMENT』 Lesson 1- 3 ◆ Focus on Listening Standard ●スタディサプリ ●『チャンクで英単語Advanced』			*	●『教科書ELEMENT』 Lesson 4- 6 ● Focus on Listening Star ● スタディサプリ ●『チャンクで英単語Adva		*	●『教科書ELEMENT』 Lesson 7- 10 ● Focus on Listening Standard ● スタディサプリ ●『チャンクで英単語 Advanced』	*	
教科書	『EL	EMENT English Comm	nunication II』(啓林館))					•	
副教材等	[Weblio Study] (GRASS)									
		知識・技能	定期考査、授業内の	課題、英単語テス	K F					
観点	,	思考力・判断力・表現力	定期考査、Weblio Stu	ıdy						
	主体	*的に学習に取り組む態度	Weblio Study、スタデ	ィサプリ						

明星高等学校 2025年度 第2学年 Intensive English シラバス MG/一貫MG

週3時間	春休み		1	 学期		夏休み		2学			冬休み		3学期		春休み
<u> </u>		4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	
養う チカラ	(1)基礎的・基本的な英語の徹底養成:正確に「記 (2)資格取得(英検準1級など)に向けた4技能の成													の徹底	養
学期目標	* 多くの英語に触れ、4技能バランスよく英語 力を磨いていく。英検2級の取得を目指す。					*	多くの英語に触れ、4技能バランスよく英語力をより高めていく。 英検2級を取得し、準1級受験に意識を向ける。 * 多くの英語に触れ ランスよく英語力: く。 英検2級を取得し、準1級受験に意識を向け る。				く英語力を高 なを取得し、準	めてい	*		
学習単元	★『Tetra4』Unit 1~7 * ★ライティングメソッドLesson 1~4 ★『Vision Quest Insight』					*	★『Tetra4』 ★ライティン: ★『Vision Qu	ブメソッドLess	son 5∼9		*	Lesson	ティングメソッ 10 on Quest Insig		*
教科書					•		, ,	•							
副教材等	『ラ·	イティング		合問題集』(啓 ーキングプラ 林館)		出』(啓林館)									
		知識	•技能	定期考査の影	素点・小テスト	`									
観点	ļ	思考力・判断	断力・表現力	定期考査の	表点、ライティ	ングメソッドな	など課題の内?	点容点							
	主体	・的に学習(こ取り組む態度	ライティング	メソッドへの耶	以組み状況、	記、課題の提出状況								